

越中八尾

(富山県富山市)

注目ポイント！

伝統芸能「越中おわら風の盆」を一大観光資源に転化。
地域住民の協力と多様なイベントの開催による通年型観光地づくり。

旧八尾町への年間入り込み客数が約34万人から約63万人に！
(平成10年) (平成17年)



越中おわら風の盆

これまでの経緯

- 昭和57年(1982) 風の盆前夜祭を開始する。
- 平成8年(1996) 第1回坂のまちアートを開催する。
- 平成10年(1998) 風の盆ステージを開始する。
- 平成12年(2000) 風の盆ステージにサブイベントとアトラクションを加えた「越中八尾冬浪漫」を開始する。
- 平成15年(2003) 八尾町観光イベント連絡協議会を設立する。
- 平成17年(2005) 八尾町他6市町村の合併により新・富山市が誕生する。

コラム

伝統芸能「越中おわら風の盆」の技能向上と保存育成を図りつつ、市民の意識改革を進め、さまざまなイベントの設定などに取り組むことにより、これを本格的かつ通年的な観光資源として整備し、町の活性化と観光振興に大きく貢献している。



観光カリスマ
福島 順二氏
〔越中八尾観光
協会会長〕

主な取り組み

越中おわら風の盆

毎年9月1、2、3日に、老若男女が揃いのはっぴや浴衣姿に編み笠をつけ、三味線や胡弓の音にあわせ、唄い踊り、町中を流し歩く「おわら風の盆」。風の盆の開催は3日間だが、11ある町内が、それぞれ1日ずつを担当し「前夜祭」を開催することで、観光客が接する機会を増やし、多くの住民参加を得た一大イベントとして成功。



風の盆前夜祭

風の盆ステージ

越中八尾観光協会は、「おわら風の盆」を通年型の観光資源とするべく、毎月第2・第4土曜日におわら踊りを定期的で開催（「風の盆ステージ」）。従来の華麗な舞台踊りに加え、三味線・胡弓の独奏そして出演者と観客が一体になって踊る輪踊りを実施し、9月の祭り期間以外での観光客誘致に成功。



風の盆ステージ

坂のまちアート

「おわら風の盆」の雰囲気醸し出す装置としての町並みづくりに住民が総出で継続的に取り組んでいる。10月に開催される「坂のまちアート」については、周辺市町村にも拡大。



住民による野の花展

越中八尾曳山祭

法被姿の若者達が六本の曳山を曳いて、華麗な時代絵巻きながら坂の町を練り歩く「越中八尾曳山祭」。地域住民が実施する「曳山囃子鑑賞会」は、囃子の後継者の確保や技術向上に寄与。



曳山祭

問い合わせ先

富山市八尾町総合行政センター農林商工課

Tel : 076 - 454 - 3117 <http://www.city.toyama.toyama.jp/yatsuo/index.html>

越中八尾観光協会

Tel : 076 - 454 - 5138 <http://www.yatsuo.net/kankou/>